

## チョウトンボ

トンボといえば、スーイスイ。でも、ハラハラ、ヒラヒラと、舞うように飛ぶトンボがいるのをご存知でしょうか。その名もチョウトンボ。飛び方の優雅さだけでなく、羽の色の美しさにも心ひかれます。



運よく写真がとれたので、記事にしようと思い資料をあたってみると、これまで知らなかったことが記載されていました。雌雄で羽の色が違うというのです。黒っぽい羽の表面が乱反射して虹色に輝くのですが、その金属的な反射色が、オスは青紫が強く、雌は緑が強いのだそうです。そんな微妙な色あいの違いを、今年はウエットランドで確かめることができるかもしれません。一昨年あたりから、チョウトンボが増えたようなのです。

ウエットランドには、完成当初から僅かながらチョウトンボが飛んでいました。広くて浅い静水域ができたのだから、数年のうちに乱舞が見られるだろうなと期待していたのですが、3年たっても5年たっても一向に増える気配がありません。何が足りないのだろうと考えあぐねていたところに、増加開始です。なぞが解けそうな気がしてきました。

昨年、安田の K さんがチョウトンボの写真を持って来てくださいました。撮影場所をたずねると、慈照園の下の池とのこと。スイレンで有名なところですが、ウエットランドにはスイレンはありませんが、同じように水面に葉を浮かせる植物として、ヒシが生えています。チョウトンボに数年先行して、増えてきました。チョウトンボの幼虫はきっと、天井のある環境が好きなのでしょう。